

遺品整理について

【事例1】5年間空き家状態にあった物件の遺品整理(Aさん50代女性)

〔経緯〕

実家で一人暮らしをしていた母が施設に入って5年が経過し、空き家状態になってから時間が経過したことを受け、“そろそろ整理をつけなくては”と思い立って、戸建て(4LDK)の空き家整理のご相談がございました。

空き家状態となってから、期間が開いてしまった為、所在が分からないものが多く、また、定期的に赴き、清掃なども行って来なかった為、念入りに清掃を行ってくれる業者を探している、という内容でした。

また、清掃後はそのまま空き家状態にしておくわけにもいかない、と言う事で、不動産の売却も視野に話が進められればという要望をいただいております、不動産売却に向けた生前整理として、ご依頼を承りました。

〔作業内容〕

お部屋はある程度片付いていたものの、生活されていた当時についたと思われる汚れや、ほこりが被った場所が多く、湿気等の関係で、箆笥の裏や、畳などかびているところが多くありました。

作業は、基本不用品処理のお手伝いで進め、貴重品になりうるもので、所在のわからないものが、多数あるため、貴重品が無いか検索しつつ、作業を進めてほしいという要望を頂いたため、1部屋ずつ人員をさいて、丁寧に2日間作業させて頂き、部屋ごとに廃棄物をまとめていき、分かりやすく作業を進めていきました。

検索の結果、ご家族が認知されていない通帳が1点、箆笥の引き出しの奥に落ちてしまっていた高価な時計が1点、その他親御さんの持ち物でご家族が認知されていない品々が多く発見され、処分業者に一括作業を依頼しなくて良かったと喜びの声も頂きました。

【例2】6畳一間で亡くなった、孤立死の場合(Bさん70代男性)

〔経緯〕

死後2週間が経過し、近隣よりBさんの部屋から悪臭がするという事で、大家さんが確認しに行ったところ、部屋で倒れて亡くなっているのが発見されました。すぐさま離れて住むご遺族に連絡がいき、発見された翌日、残された遺品の整理を行いたいと依頼があり、見積もり算出後、1週間が経って作業当日を迎えました。

〔作業内容〕

お部屋には家具はほとんどなく、衣類や食器などの必要最低限のものしか無かった為、分別してすべて処理したいというご依頼であり、10時から2名体制で2時間、予定通り作業終了し部屋のクリーニング作業をしました。

加えて、腐敗臭が染みついた箇所や畳の処分と入れ替えもしたいという要望もあった為、特殊清掃業者や専門業者に任せ、業務を終えました。

《ご依頼の状況とは…》

○ご依頼の多くは“遺品整理”が必要となる『ご遺族』からのものがほとんど。

○ご依頼は、“遺品整理のみ”や“不用品の処理”などがほとんどとなっており、その他の要望は多種多様であるため、便利屋で受けられない要望等は専門業者にお任せしています。

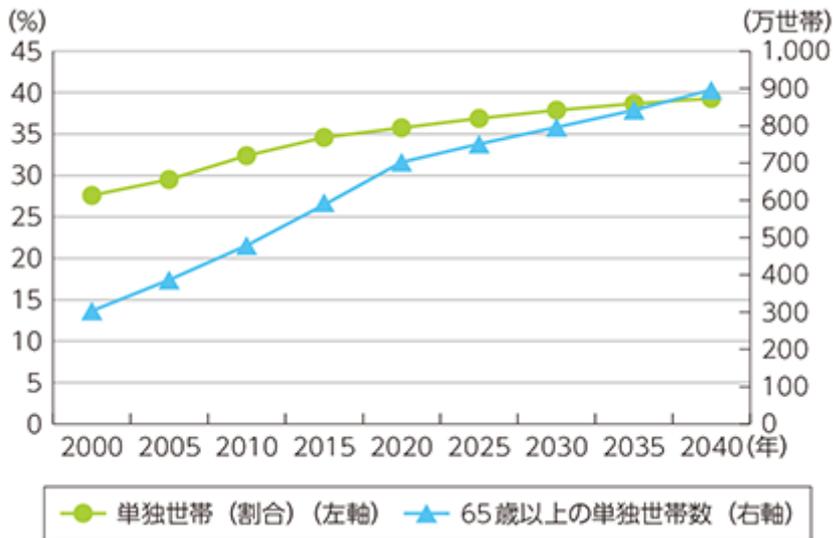
・日本社会の問題点

【1】独居老人の増加

(1) 単独世帯の増加

未婚率の増加や、核家族化の影響を受けて、単独世帯(世帯主が一人の世帯)が増加している。2040年には単独世帯の割合は約40%に達すると予測されている(図表1)。特に、65歳以上の単独世帯数の増加が顕著である。

図表1 単独世帯率の推移と65歳以上の単独世帯数の推移(2020年以降は予測)



(出典)2015年まで総務省統計局「国勢調査」2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)2018(平成30)年推計

単独世帯の増加は、社会的孤立のリスクを高める。高齢者を対象とした内閣府の調査によると、我が国の単独世帯の高齢者のうち、他者との会話が「ほとんどない」と回答した人の割合は7.0%であり、これは二人以上の世帯の値(2.2%)や諸外国の単独世帯(アメリカ:1.6%、ドイツ:3.7%、スウェーデン:1.7%)と比較すると高い水準である。単独世帯の増加は、頼りにできる存在が身近におらず、社会的に孤立してしまう人の増加にもつながると考えられる。

【2】核家族化や単身高齢者の増加(高齢化の進行)

単身高齢者が増加する理由

家族制度を含めた「社会構造の変化」によって、一人暮らしの高齢者は今後ますます増えていくと予想されています。ひと昔前は当たり前だった3世代家族は減り、ライフスタイルの近代化や仕事の変化によって夫婦や親子だけで構成される家族がほとんどになりました。高齢者の価値観にも変化が起こり、「老後は子供たちに頼らず自立したい」という人が増えていることもあり、結果的に単身高齢者が右肩上がり急増し

ているのです。

〈単身高齢者が増加する理由〉

- 何らかの理由で家族を頼れない
- すでに家族は他界している
- 生活環境に満足している
- 経済的に一人暮らしが可能(困っていない)
- 慣れ親しんだ場所から離れたくない

【3】セルフネグレクト(自己放任)

セルフネグレクトは、自己管理ができず、生活環境や栄養状態が悪化している状態です。自分自身を大切にしないこともあり、セルフネグレクトと呼ばれています。特に、社会的に孤立している方に多いです。結果、孤独死を招いてしまう引き金となっています。

セルフネグレクトとは

セルフネグレクトとは、**衛生や健康行動を放任し、自己の心身の安全や健康が脅かされる状態**のことです。セルフネグレクト(Self Neglect)は日本語で「**自己放任**」と訳されます。

「**ゴミ屋敷**」と呼ばれている住まいも、セルフネグレクトであることで作り出されたといえるでしょう。セルフネグレクトの特徴としては、具体的には以下の点が挙げられます。

セルフネグレクトの特徴

- 重度な住環境の不潔さ
- 使えないもの、価値のないものを多く入手する
- ガラクタを捨てることができない
- 貧弱な栄養状態
- サービスの拒否
- 不適切な身体衛生
- 服薬管理ができない

参考: 東邦大学看護学部

遺品整理・トラブル回避のための業者を見極めるポイント

- ・店舗が確認できる
- ・制服がある
- ・電話で連絡先が確認できる
- ・会社概要の詳細を、ホームページやチラシ広告に明示している
- ・人件費、清掃費、追加項目費用などで、詳細な見積書を提示する
- ・作業工程の進み方、注意点などを詳しく説明する